

議題 3

駐輪場のあり方検討について

市営駐輪場の概要について

- 現在、29箇所の市営駐輪場を設置。自転車については、9,115台分の収容台数を確保している。
- 市中心部5箇所と武蔵塚駅前自転車駐車場では、民間事業者に公の施設の管理運営を代行させることができる**指定管理者制度**を導入している。

<市営駐輪場一覧>

市中心部エリア（有料）				
名称	自転車	原付	自動二輪	管理
市庁舎自転車駐車場	50			無人
熊本市自転車駐車場	340	380		有人
辛島公園地下自転車駐車場	470	252	50	有人
市庁舎北側自転車駐車場	210			有人
上通自転車駐車場	650			有人

その他エリア（無料）			
名称	自転車	原付	管理
段山自転車駐車場	41	可	無人
銀座橋際自転車駐車場	170	可	無人
本荘自転車駐車場	62	可	無人
庄口公園自転車駐車場	54		無人
市立体育館前停留場自転車駐車場	150	可	無人
健軍変電所前自転車駐車場	350		無人
健軍自転車駐車場	550	112	無人

駅周辺エリア（無料）			
名称	自転車	原付	管理
武蔵塚駅前自転車駐車場	1,000		有人
武蔵塚駅前バイク置場(自動二輪可)		80	無人
光の森駅自転車駐車場(駅南側)	170	可	無人
上熊本駅自転車駐車場	805	52	無人
新水前寺駅東高架下自転車駐車場	343		無人
新水前寺駅西高架下自転車駐車場	384	23	無人
熊本駅北高架下自転車駐車場	762	可	無人
熊本駅中央高架下自転車駐車場	188	可	無人
熊本駅南高架下自転車駐車場 ※R3.4～	438	可	無人
田崎橋際自転車駐車場	200		無人
平成駅前自転車駐車場(駅南側)	167	可	無人
南熊本駅前自転車駐車場	300	可	無人
西熊本駅自転車駐車場	407	35	無人
富合駅高架下自転車駐車場	163	25	無人
富合駅西口自転車駐車場(路上)	44	可	無人
川尻駅自転車駐車場	422	34	無人
東海学園前駅自転車駐車場(臨時)	200		無人

過去の主な取り組みについて

平成24年度「**放置自転車ゼロ作戦**」を開始

○ 放置禁止区域の拡大

市中心部の約112haを放置禁止区域に指定。放置自転車撤去活動を強化した。

○ 乗入台数に見合った駐輪場の確保

市中心部の駐輪場の不足による路上の放置自転車をなくすため、市営駐輪場の運営を見直した。
また、民間事業者への整備補助制度を設け、民営による駐輪場の整備を進めた。

○ 駐輪場の有料化

受益者負担を導入することとし、市・民間ともに市中心部の駐輪場の有料化を実施。
短時間の放置自転車を減らすため、短時間無料制度（2時間無料）を導入。



路上の放置自転車が減り、歩きやすい歩道が形成され、まちなかの景観が向上した。

< 放置自転車ゼロ作戦前後の変化 >

【銀座通り】

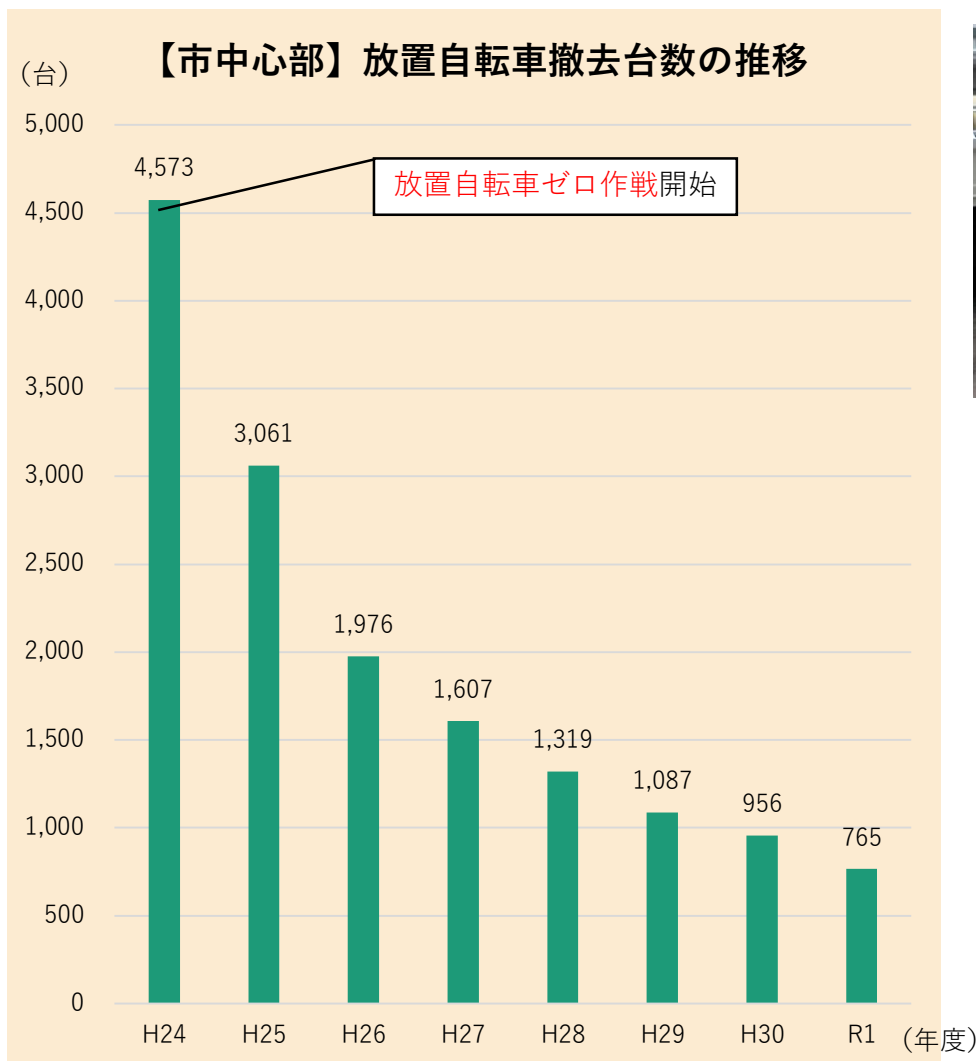


【蓮政寺公園】



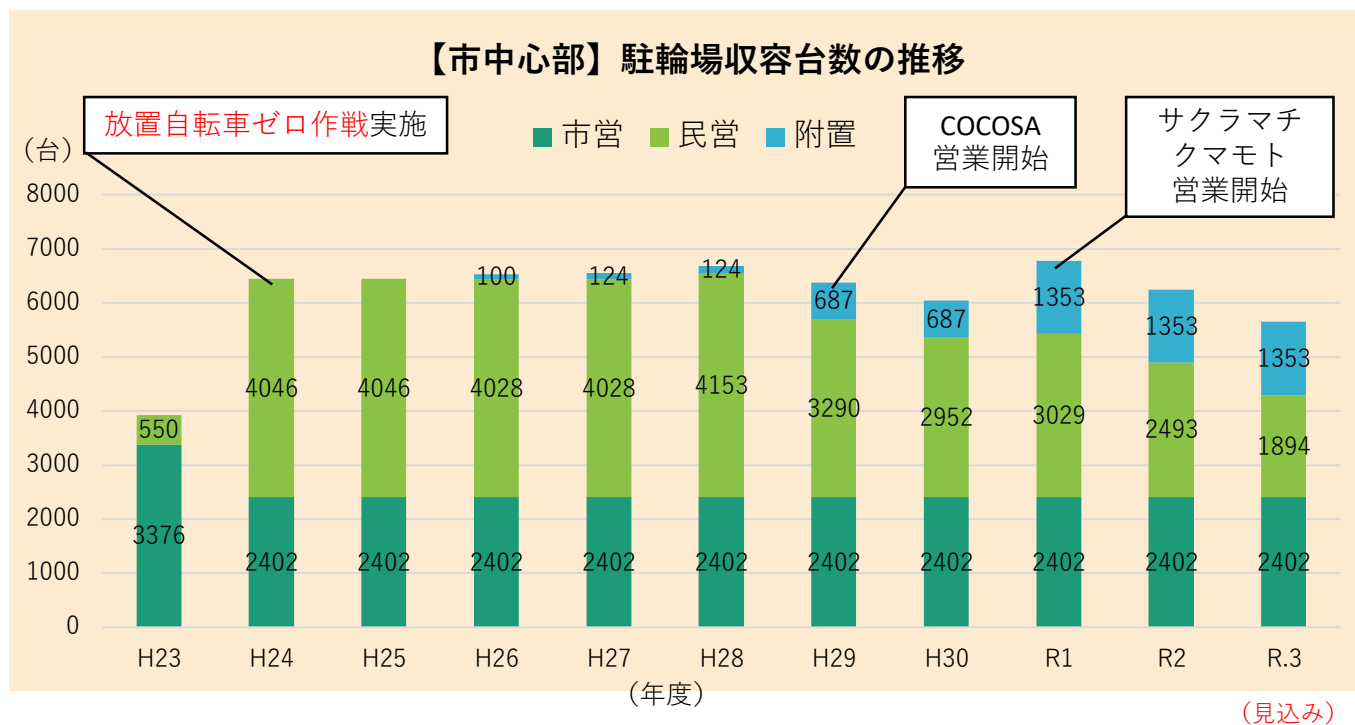
市中心部の放置自転車撤去台数について

○ 放置自転車ゼロ作戦を開始してから、毎年放置自転車撤去台数が減少している。



市中心部駐輪場の収容台数について

- 収容台数は、令和元年度の6,784台がピーク。
- 平成29年度から民間駐輪場が減少しているのに対し、附置義務駐輪場が増加している。（現在8箇所。うち3箇所は誰でも利用できる。）
- 現在の全体の収容台数は5,649台。



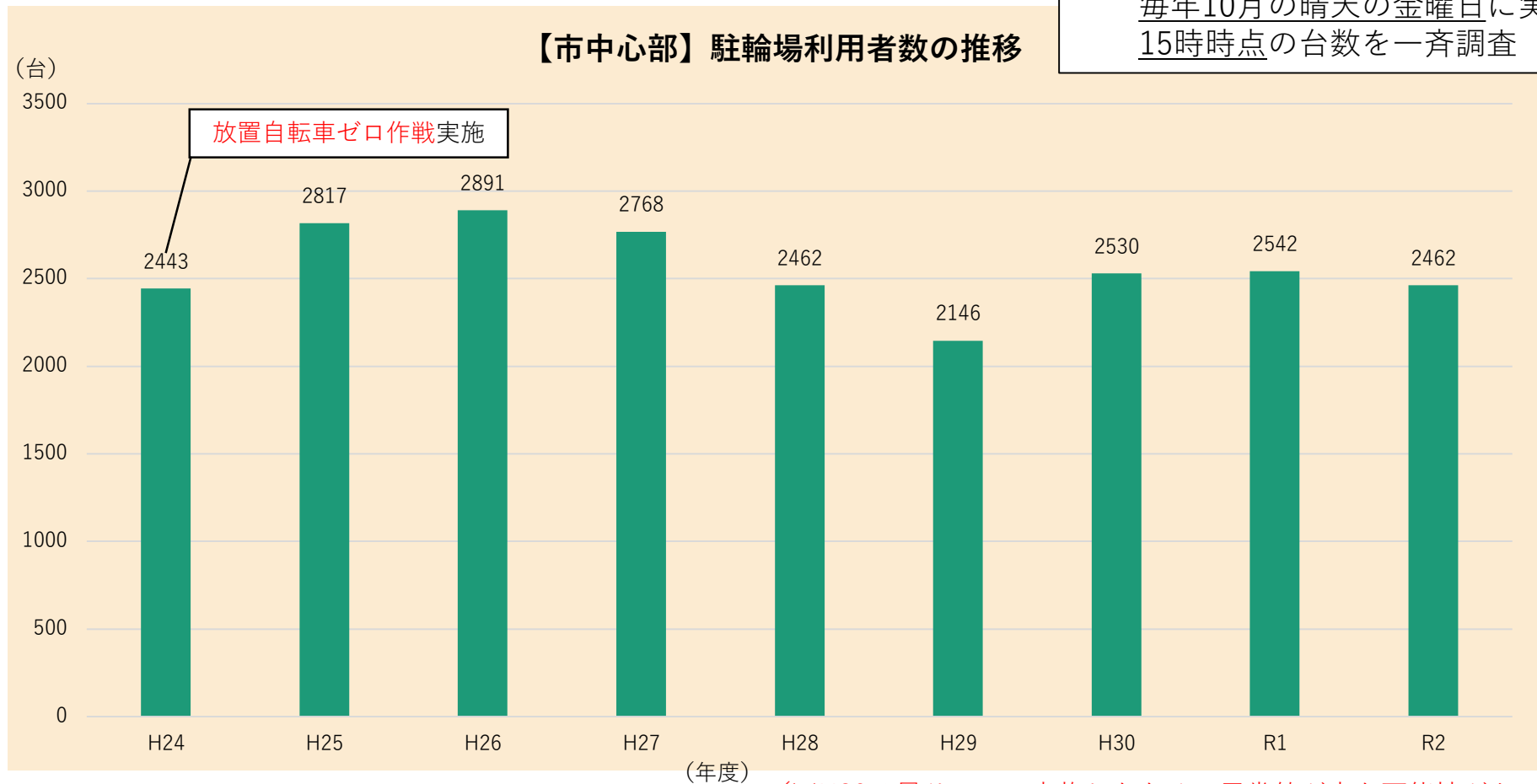
平成22年度「熊本市自転車等駐車場の附置に関する条例」を施行

・安全で快適な歩行環境や交通の円滑化及び良好な都市環境を確保するため、自転車等の大量の駐輪需要を生じさせる施設について、一定規模の以上の施設を新築又は増築する場合に自転車駐車場等の設置を義務付けている。

市中心部駐輪場の利用者数推移について

- 熊本地震が発生した平成28年は300台弱減少した。
- 収容台数は減っているが、直近3年間は2,500台前後で推移している。

◆自転車利用実態調査
毎年10月の晴天の金曜日に実施
15時時点の台数を一斉調査



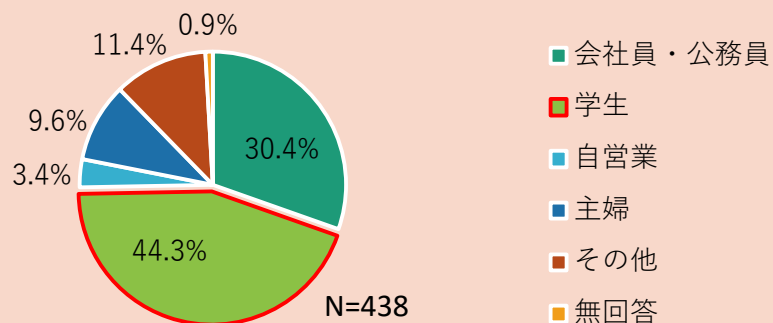
(※H29は曇りの日に実施したため、異常値が出た可能性がある。)

市中心部駐輪場の利用者について

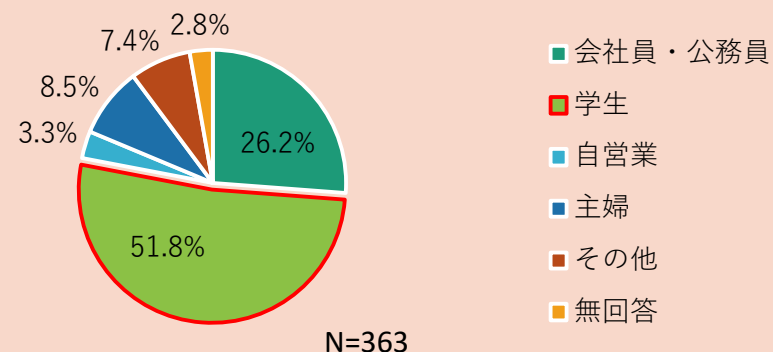
- 利用者は、学生が平日、休日ともに **5 割前後**で最も多く、次いで会社員・公務員、主婦となっている。
- 目的は買い物・飲食等が平日は**約 5 割**、休日は**約 6 割**で最も多い。

<職業>

【平日】

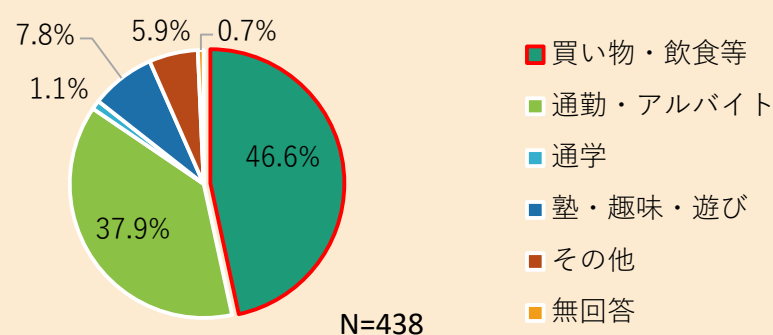


【休日】

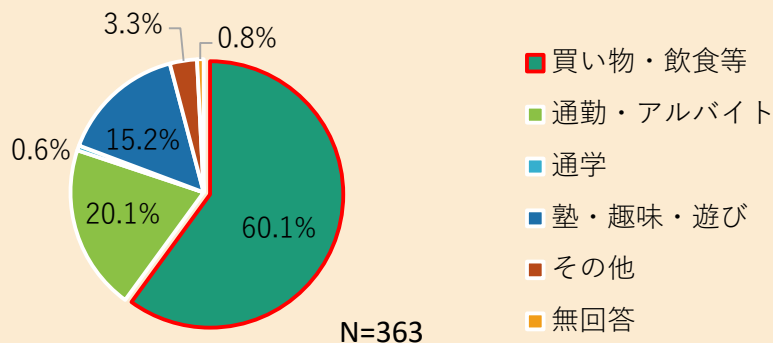


<利用目的>

【平日】



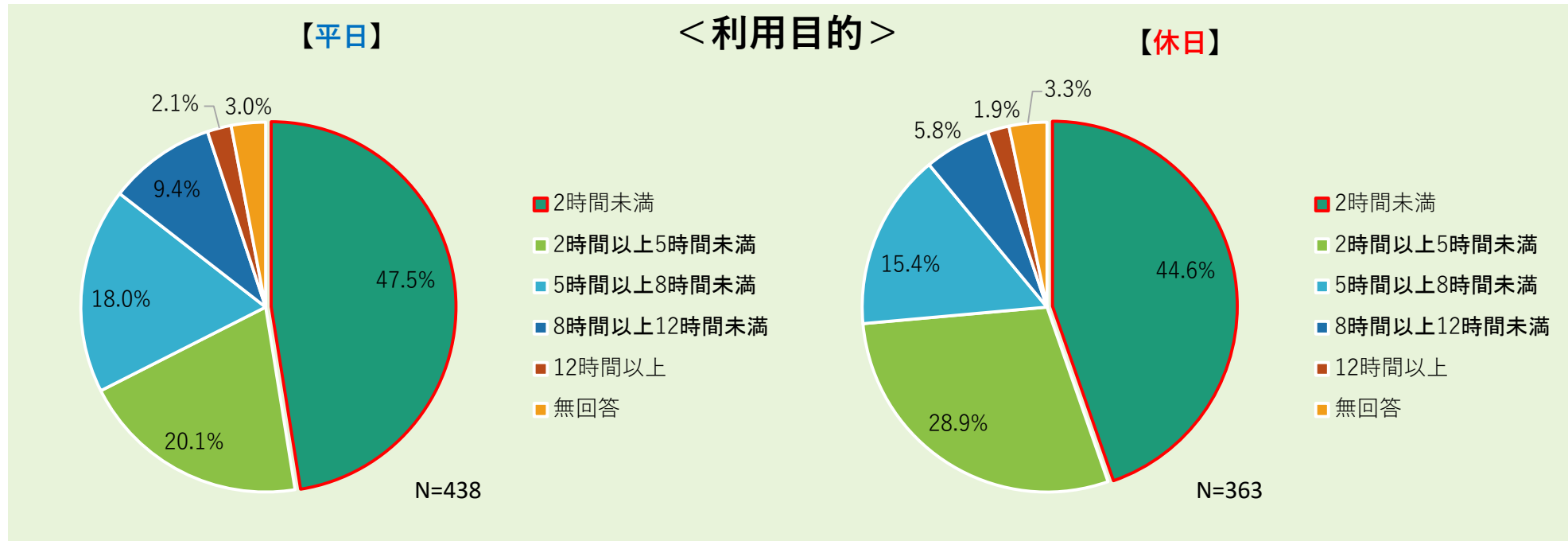
【休日】



◆駐輪場利用者へのヒアリング調査
令和元年11月 平日1日・休日1日の計2日間
(天候：晴れ)

市中心部駐輪場の利用時間について

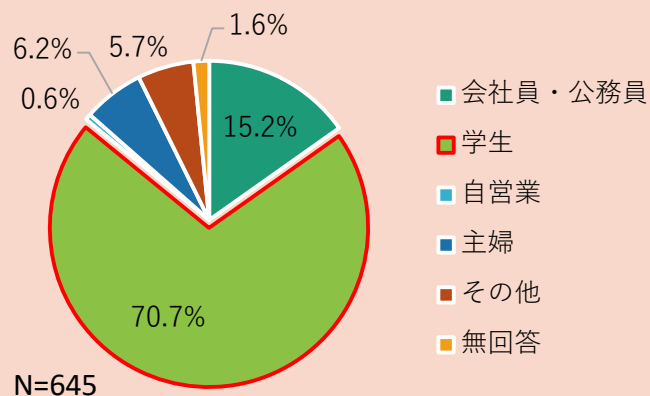
○ 利用者の約4割が2時間未満の利用であり、8時間以上の利用は約1割である。



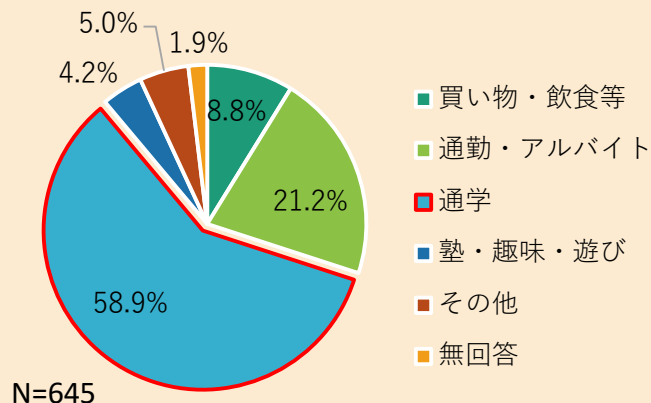
駅前駐輪場の利用者について

- 利用者は、学生が約 7 割を占めている。
- 利用目的は通学が約 6 割で最も多く、次いで通勤・アルバイト、買い物・飲食等となっている。
- 利用者の約 6 割が8 時間以上の利用であり、2 時間未満の利用は約 1 割となっている。
- 市中心部とは実態が大きく異なっている。

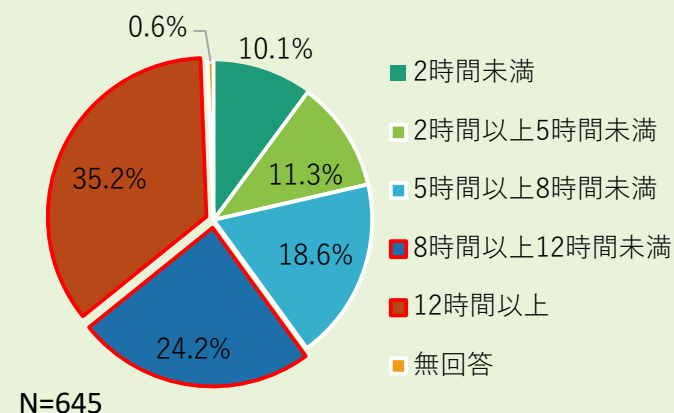
<職業>



<利用目的>



<利用時間>



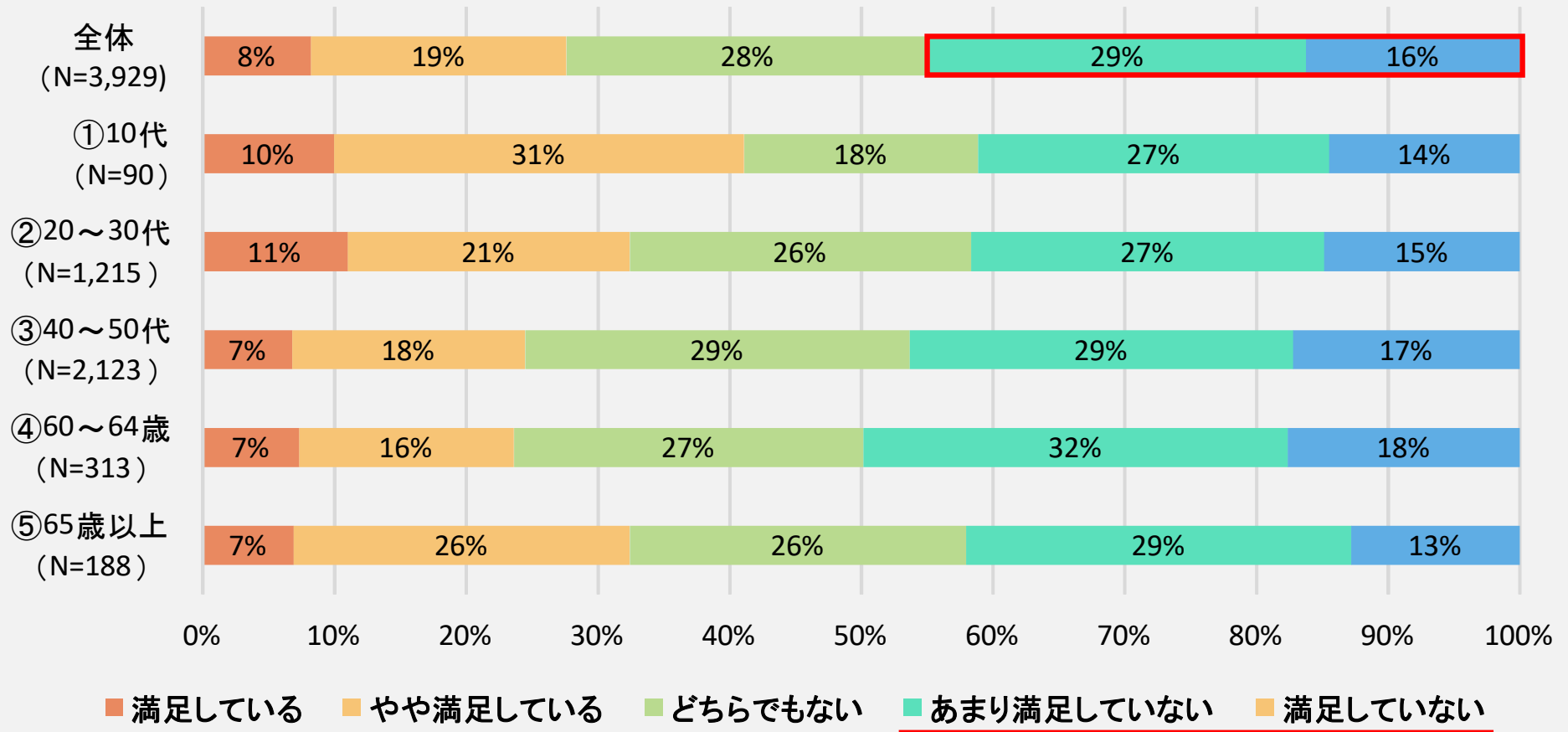
◆ 駐輪場利用者へのヒアリング調査
令和元年11月 平日1日（天候：曇り）

◆ 調査対象駅
・熊本駅 ・上熊本駅 ・西熊本駅
・新水前寺駅 ・東海学園前駅

自転車駐輪環境に関する調査について

○ 駐輪環境について、年齢に関係なく、自転車利用者の45%前後が「満足していない」、「あまり満足していない」と回答している。

問 現在の駐輪環境に満足していますか？



◆市HPにてアンケート調査を実施
令和2年10月13日～30日

駐輪場のあり方検討について

◆アンケートの結果から

- ・ 自転車利用者の半数近くが、現状の駐輪環境に満足していない。
- ・ より多くの人々に満足してもらうには、駐輪環境の整備が必要。新たなサービスも必要。

◆他の課題

- ・ 駐輪場の維持経費が収入を大きく超えている。（維持経費：約 1 億 7 千万円、収入約 1 億円）
- ・ 今後、施設や機器の更新に費用がかかる見込み。
- ・ 新規の駐輪場整備やサービスにも費用がかかる。

《有料は 5 か所》

このような課題について



◆熊本市自転車活用推進計画では、下の施策を記載し、駐輪環境づくりを展開していく。

基本方針1 ^{ばい}乗る bicycle 「自転車を便利に利用できる環境づくり」

施策	取組
1. 自転車走行空間の整備	①自転車走行空間の整備
	②交通事故危険箇所における事故防止対策
	③自転車ネットワークの拡充
2. 駐輪環境の整備・構築	①交通結節点等における駐輪場整備
	②放置自転車ゼロ作戦
	③駐輪場整備補助の導入
	④駐輪場の有料化・料金体系の見直し
	⑤駐輪場設備の拡充および施設の更新
	⑥駐輪場のICカードへの対応化
3. 自転車通勤の促進	①熊本市版「自転車通勤推進企業」認定制度の導入
	②サイクル＆ライドの促進

◆まずは財源の確保の検討を行いたい。
有料化実施拡大の検討
2 時間無料制度の見直し 等



来年度から、本協議会で持続可能な駐輪場のあり方を検討していきたい。